

八木山小だより



学校教育目標「自立心のある子」

令和6年2月29日発行

自慢の授業を公開しました



今年も学習委員会提案の「授業自慢」の取組が行われました。学習委員会はこれまでも「タブレットの正しい使い方」や「反応キャンペーン」の取組を実施し、一人に一台貸与されているタブレットを学習に効果的に使用できるよう使い方の約束の徹底を図ったり、仲間と学び合う姿勢を高めるための活動を行ったりしました。2月の取組は、それぞれの学級の授業に臨む姿勢の1年間の成長を確かめ、1つ上の学年に向かう心構えを作るための、とてもよい機会になりました。各学級の「授業自慢」は以下の通りです。

ひまわり1組：もくもく勉強

ひまわり2組：話を最後まで聞く 文で話す 大きな声で話す・読む

1年1組：時間を守る 静かに聞き進んで挙手する

話す（まきこみ・理由・順序ワードを使って）等

2年1組：ピンピン挙手 道徳の時間全員発表

説明（まきこみワード・指さし）

2年2組：授業のあいさつ まきこみワード 反応

3年1組：時間でそろってあいさつする 目ビーム・ヘソビームで話を聞く 話をしっかり聞く

4年1組：近くの子と教え合う まきこみワード 反応言葉

5年1組：反応聞き ハンドサイン まきこみワード

6年1組：呼びかけ 反応



まきこみワードを使って説明している4-1
説明への反応もよくできています

取組期間中、校長と教頭が各クラスの自慢の授業を参観しました。どの学級も自分たちの「自慢」の内容を意識して授業に臨む姿が見られました。昨年度から大切にしている「2秒起立 声をそろえて 3秒着席あいさつ」、仲間に自分の考えが伝わるように資料等を示しながら話すことに加えて、「～ですよね」「～でしょ」と聞き手を巻き込む言葉（まきこみワード）を使って、聞き手の理解を確かめながら説明すること、仲間の発言に「なるほど」「同じ意見です」などの反応を返す姿に高まりが見られました。昨年度の取組以上に、仲間と学び合うために必要な力が身につけてきていることをうれしく思いました。

ボランティア表彰式

2月21日の朝活動の時間に、ボランティア表彰式を行いました。今年度、ボランティア活動50回以上を達成した児童は、126人（2/21現在）で、今年も多くの子が、家族や学校の仲間、地域のためにボランティア活動をすることができました。各クラスを代表して表彰状を受け取った児童は、「ボランティアをすると、『ありがとう』と言ってもらえてうれしい。」「来年もボランティアを頑張りたい。」等と力強く語りました。人の役に立つ喜びや、自分ができる



ボランティアについて語る代表児童

ことが増えたり上手にできるようになったりする喜びを感じて、心豊かに成長してほしいと思っています。これからもボランティア活動を大切にしたいと考えています。今後ともご協力をよろしくお願いします。